

平成28年 業種別労働災害発生状況

(確定)

苫小牧労働基準監督署

業種別	区分	平成28年			平成27年			対前年		業種割合
		死亡	休業 4日 以上	合計	死亡	休業 4日 以上	合計	増 減 数	増 減 率	
全産業合計		(2) 5	(27) 489	(29) 494	9	(19) 455	(19) 464	30	6.5	100.0
除く鉱業計		(2) 5	(27) 489	(29) 494	9	(19) 455	(19) 464	30	6.5	100.0
製造業		1	105	106	1	(1) 92	(1) 93	13	14.0	21.5
内 訳	食料品		30	30		35	35	-5	-14.3	6.1
	木材木製品		11	11		9	9	2	22.2	2.2
	紙・パルプ	1	5	6		7	7	-1	-14.3	1.2
	窯業・土石		9	9		6	6	3	50.0	1.8
	金属・機器		12	12	1	10	11	1	9.1	2.4
	輸送用機械		13	13		6	6	7	116.7	2.6
	その他		25	25		(1) 19	(1) 19	6	31.6	5.1
鉱業										
土石採取						3	3	-3	-100.0	
建設業		1	(8) 53	(8) 54	3	(4) 47	(4) 50	4	8.0	10.9
内 訳	土木工事業	1	(2) 22	(2) 23		(1) 16	(1) 16	7	43.8	4.7
	建築工事業		(2) 15	(2) 15		(3) 24	(3) 24	-9	-37.5	3.0
	木造建築業		4	4		3	3	1	33.3	0.8
	その他の工事業		(4) 12	(4) 12	3	4	7	5	71.4	2.4
道路貨物運送業		(2) 2	(7) 79	(9) 81		(4) 69	(4) 69	12	17.4	16.4
その他の運輸業			13	13		(2) 14	(2) 14	-1	-7.1	2.6
陸上貨物取扱業			3	3	1	2	3			0.6
港湾荷役業			5	5	1	5	6	-1	-16.7	1.0
林業		1	4	5	2	3	5			1.0
漁業			3	3		3	3			0.6
卸売・小売業			(4) 59	(4) 59	1	(2) 49	(2) 50	9	18.0	11.9
清掃業			(2) 28	(2) 28		25	25	3	12.0	5.7
ゴルフ場			11	11		(1) 7	(1) 7	4	57.1	2.2
その他の事業			(6) 126	(6) 126		(5) 136	(5) 136	-10	-7.4	25.5

本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計したものです。

()内は交通事故で内数です。

平成28年 業種別労働災害発生状況（その2）

「その他の事業」の内訳

（確定）

業種別	平成28年			平成27年			対前年		業種割合
	死亡	休業 4日 以上	合計	死亡	休業 4日 以上	合計	増 減 数	増 減 率	
農 業		11	11		13	13	-2	-15.4	2.2
畜 産 業		42	42		43	43	-1	-2.3	8.5
理 美 容 業									
その他の 商 業		5	5		2	2	3	150.0	1.0
金融・広告業		(2) 3	(2) 3		(2) 3	(2) 3			0.6
映画・演劇業									
通 信 業		(2) 9	(2) 9		(1) 5	(1) 5	4	80.0	1.8
教育・研究業		2	2		3	3	-1	-33.3	0.4
保健・衛生業		(2) 29	(2) 29		(1) 35	(1) 35	-6	-17.1	5.9
飲 食 店		13	13		16	16	-3	-18.8	2.6
その他接客娯楽業 (除くゴルフ場)		3	3		7	7	-4	-57.1	0.6
その他の 事 業		9	9		(1) 9	(1) 9			1.8
合 計		(6) 126	(6) 126		(5) 136	(5) 136	-10	-7.4	25.5

平成28年 死亡災害発生状況

(確定)

苫小牧労働基準監督署

件数	発生月	発生時間	事業の種類	規模	災害の種類	起因物	災害発生状況の概要
1	1月	13時台	道路建設 工事	10人 ～ 29人	崩壊・倒壊	地山、岩石	被災者は斜面下方において斜面に堆積させていた土砂をドラグショベルを使用してダンプに積み込む作業を行っていたが、その斜面の土砂が突然崩れて、被災者の乗っていたドラグショベルとダンプが崩れた土砂により横倒しとなり、ドラグショベルは土砂に埋まった。ダンプの運転手は自力で脱出して負傷はなかったが、ドラグショベルの運転手は約2時間半後に救出されたものの死亡していた。
2	1月	11時台	パルプ・紙 製造業	50人 ～ 100人	崩壊・倒壊	荷姿のもの	被災者は、製紙工場の古紙保管ヤード内において、古紙ボール（古紙を圧縮して番線で結束した直方体の塊で、1個の重さは約1トン。）258個のはい崩し作業に従事中、古紙ボール2個がフォークリフトによりはいから抜き取られ、その後にパレットの片づけ作業のために被災者がはいに近づいたところ、当該はいの2段目から4段目までの計11個の古紙ボールが崩壊し、被災者がその下敷きとなったもの。
3	3月	13時台	その他の 林業	1人 ～ 9人	巻き込まれ・はさまれ・積込み・用機	整地・運搬機	被災者と同僚2名がブルドーザーの運転席以外の場所に乗車し、土場から地拵作業現場（尾根付近）まで移動した。作業現場に到着した当該ブルドーザーが、帰路に向けて方向転換するために旋回し後退した時、ブルドーザー後部（ウインチ部）に乗車中の被災者が、降車し又は振り落とされたため、後退中のブルドーザーに轢かれたもの。
4	10月	3時台	道路貨物 運送業	1人 ～ 9人	交通事故	トラック	被災者は、トラックを運転し、長万部町内の道央自動車道を函館方面に走行中、センターラインを超えて反対車線にはみ出し、札幌方面に走行していたトラックと正面衝突したもの。 なお、相手方のトラックも2名が死亡したもの。
5	11月	8時台	道路貨物 運送業	10人 ～ 29人	交通事故	トラック	被災者は、生コン車を運転し、むかわ町内の道道を走行中、アイスバーンでスリップして対向車線の道路脇の法面に衝突し、横転した車両の下敷きとなったもの。

過去10年間の死亡災害発生状況

発生年	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	合計
死亡件数	6 (2)	6 (4)	6 (1)	7 (0)	9 (3)	3 (0)	4 (1)	4 (0)	8 (4)	9 (0)	62 (15)

死亡件数欄のカッコ内の数字は交通事故の件数で内数

労働災害発生状況について

平成28年に発生した全産業における死亡及び休業4日以上之死傷災害は494件で、前年より30件（6.5%）の増加となりました。

業種別では、道路貨物運送業で+12件、卸売・小売業で+9件、輸送用機械製造業及び土木工事業でそれぞれ+7件、その他の製造業で+6件と増加しました。

一方、建築工事業で-9件、その他の事業（保健・衛生業）で-6件、食料品製造業で-5件と減少しました。